

押し本・押し活ライブラリーへ行ってきました!

狩場台・プルメリア

7月12日・13日、西神中央ホール1階アールスペースで開かれた tonaruba 主催の押し本・押し活ライブラリーへ行ってきました。

「押し本」とは、自分がお勧めしたい本のこと。1冊100円出して、紹介します。
(押し活とは、自分たちの活動を紹介すること)



「お金を出してまでも、人々に紹介したい思いがある人」っているんですか?と驚かれることもしばしば…。かく言う私も、その一人。私が紹介したのは、日本・中国・韓国の絵本作家が、話し合いを重ねて作った平和絵本です。子どもたち・大人たちに読んでほしいと思いました。世界で戦争が起こっている今、こういう機会があってよかったと思いました。そして、矢川光則さんの「海を渡る被爆ピアノ」の本も、紹介させていただきました。(この本も感動もの)

今回この企画に賛同した方は、29名。色々なジャンルの本や絵本が紹介されていました。本を通して、人と人とが会う。そういうことも、魅力のようです。そして、訪れた人は、心に響いた本を紹介した人に、メッセージを送ることができます。(感動は、静かに広がる感じがしました)

この企画を主催した tonaruba の皆さんは「自分たちの活動の趣旨を参加者が理解してくれて、共感が広がり、楽しい企画ができました」と、とても、満足そうでした。地元、西神中央で、みんなの図書館作りに、ますます力が湧いてきたようです。まずは、「空き家探し」。皆さんの近くに「空き家」を提供して下さる人いませんか?

情報は、こちらまで。 mintoshoseishin@gmail.com

